

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月 日

事業所名 レジリエンス・スポーツセンター

職員数:8(パート含む) 回収数:8 割合:100%

|         |   | チェック項目   | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標   |
|---------|---|--|----|-----------|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                  | 5  | 3         | 0   | ・利用者の身長など体格に合わせて課題をくみだてるようにしている。                         | ・基準を満たした定員とスペースを確保しております。  |
|         | 2 | 職員の配置数は適切である   | 1  | 7         | 0   |  | ・現状の職員数での配置は適切だが、そもそもの職員数を増やしたい。<br>・職員が増えると色々な面でサポートが充実できると思う。<br>・もう少しアルバイトとかが増えると集団とかたくさんもっている人がゆとりをもって計画立てたりすることができるのかなと思います。<br>→基準を満たした職員数を配置しておりますが、引き続き職員を募集しサポート体制を充実できるようにしていきます。              |
|         | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                           | 3  | 4         | 1   | 階段を滑りににくくするためすべり止めや人工芝等に対応している。                          | ・バリアフリーの定義を「障害のある人や高齢者だけでなく、あらゆる人の社会参加を困難にしているすべての分野でのバリア(障壁)の除去」とすると、出入口の段差やドアノブ式の扉は気になる。<br>・駐車場のスペースとで入口の段差は少しきになる。<br>→階段のすべり止め、手すり、エレベーターの他、お子さんの状況に合わせて人的環境で対応しています(介助が必要な場合は職員が対応しますので、お声かけください)。 |
| 業務改善    | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                | 2  | 5         | 1   |  | ・職員全員が参画はしているが、発言や共有をするのは一部な気がする。<br>→全体的な業務については、毎月のミーティングで課題を共有し、業務改善に向けて話し合っています。<br>・職員間でチューター制度を実施し、定期的にミーティングで振り返りを行っています。今後は更にPDCAサイクルを意識した業務改善を意識して取り組んでいきます。<br>・現在、新人育成のためのOJTマニュアルを活用しています。   |
|         | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている     | 8  | 0         | 0   | ・事業所評価だけでなく、各集団レッスンやサークルなどでもアンケートを活用し、質の向上に努めているスタッフがいる。 | ・事業所評価や保護者アンケートは定期的に行っていて、保護者等の意向を把握し職員全体で業務改善に努めています。   |
|         | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                           | 6  | 2         | 0   |  |  |
|         | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                             | 3  | 4         | 1   |  | ・第三者による評価を受けているか否かがわからない。<br>・されているかわからない。<br>→現在、既に第三者委員会を設置しており、苦情解決の助言役を担っていただいております。ただし、外部評価についてはまだ受けていないため、今後は実現していきます。   |
|         | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                | 8  | 0         | 0   | ・外部講師も活用している。<br>・外部講師の調整やワークを活用している。                    | ・月1回の所内研修、また不定期のワークを開催していますが、常勤職員だけの参加のことが多いため、今後は全職員が参加する機会を作っていきます。  |
|         | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 4  | 3         | 1   |  |  |

|    |    | チェック項目                                     | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点         | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標   |
|----|----|--|----|-----------|-----|-----------------|--|
| 適切 | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 2  | 6         | 0   |                 |  |
|    | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている                       | 1  | 6         | 1   |                 |  |
|    | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                     | 6  | 2         | 0   | ・振り返りを通して改善している | ・活動プログラムが固定化しないよう、個人で様々なネタを仕入れている他、職員ワークで新しい課題を練る機会を設けています。今後もワークを定期的に行い、全ての職員が参加できるように工夫し活動プログラムが固定化しないように工夫していきます。 |
|    | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している         | 2  | 6         | 0   |                 |  |